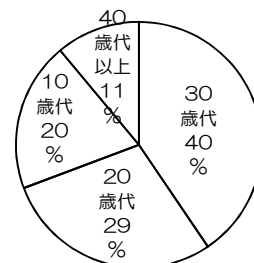


若年女性の人口減少に関する 聞き取り調査・ワークショップの結果について

1 新潟市にお住まいの女性を対象とした聞き取り調査

現在新潟市にお住まいの女性に、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に住んだことがあるかなど、東京圏への転出の理由を探るため、今年6、7月に全区役所や大学などで直接対話の聞き取り調査を行った。

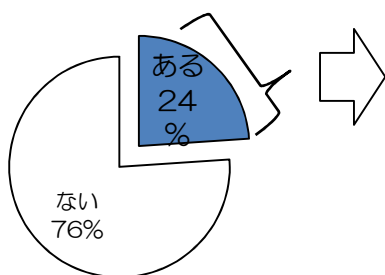
◆回答者（407名）
の年齢構成



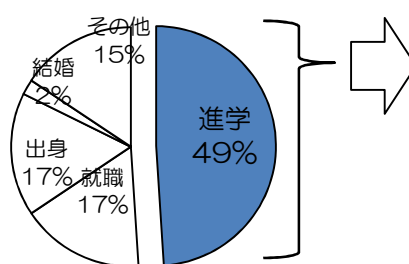
■ 回答者の4人に1人が東京圏からのUターン・Iターン者

～8人に1人が東京圏へ進学し、その半数がそのまま東京圏で就職～

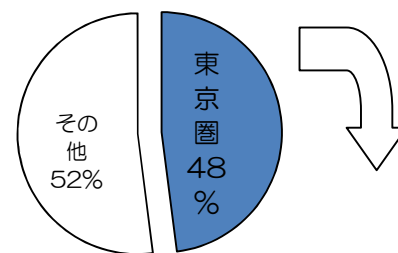
◆東京圏に住んだことがあるか



◆東京圏に住んだきっかけは何か



◆東京圏への進学後、どこで就職したか



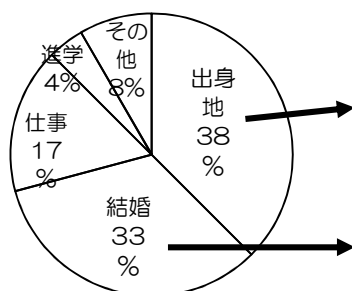
◆「進学」の際に、東京圏を選んだ主な理由

- 進学したい大学・学部が東京圏だった。（28件、60%）
- 一度は県外に出てみたいという希望があり、都会の学校を選んだ。（6件、13%）
- 学びたい学部・学科が新潟市に無かった。（3件、6%）

◆「就職」の際に、東京圏を選んだ主な理由

- 自分のやりたい仕事・業種が東京圏にあった。（8件、50%）
- 大学などで学んだ専門知識・資格を活かせる職場が地元が無かった。（2件、12%）
- 都会への憧れがあり、東京圏を選んだ。（1件、6%）

■ 東京圏へ就職した方が現在新潟市に住んでいる理由



○住みやすく、子育てしやすい環境が整っている。

○親元で安心して暮らしたかった。

○結婚相手の職場が新潟市内。（多数）

2 女性を対象としたワークショップ

聞き取り調査で出された意見を踏まえ、今後私たちが取り組むべき対応策について、若年女性が求めていることを探るため、大学生・専門学生や子育て支援団体の方を対象とし、7月にワークショップを行った。

■ 人口流出を食い止めるための対応策

- 小中高生の頃から地域に関わる機会を充実させるなど、幼少期から地元への愛着を育てる。
- 大学・専門学校環境を整備し、そこで学んだ専門的な知識や資格などを活かして働ける企業を誘致するなど、進学から就職までのつながりをつくる。
- 地域で子どもを見守るなど、住民同士が普段から助け合い、誰もが暮らしやすい環境をつくる。
- 田園や水辺環境などの自然と都市が融合している良い環境を伸ばす。

⇒ 「地元への愛着を育てるとともに、進学・就職における環境を整備する」